

## 平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

多様な生徒へ多様な教育活動を展開し、教員と生徒・保護者との信頼関係を深め、中退率の減少を図り、地域から信頼される学校となることをめざす

## 1 めざす生徒像

- 自尊感情を高め、夢や進路の実現に向け前向きに努力する生徒
  - 集団生活の中で、自他ともに敬い愛し尊敬しあう生徒
  - 確かな学力と社会性を身に付けた、責任を持った行動のできる生徒
- 2 地域に根差した学校として、地域と密に連携し、その教育力の活用を図りまた地域への積極的な情報発信や貢献を行う。
- 3 全日制総合学科として、専門性を深める教育を展開し、専門教員による授業内容の向上や指導態勢の充実を図る。  
また、厳しく教え優しく育てる生徒指導を行う。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

- (1) 総合学科のカリキュラムを見据え、基礎基本から応用に至るまで、多様な学習ニーズに即した授業の充実を図る。
- ア 基礎学力の向上を図るとともに、総合学科として多様な選択科目をより充実させ、系列ごとに系統だった学習の確保を行う。
  - イ 授業見学や研究授業および授業評価による、授業改善に重点を置く。
  - ウ 積極的に体験的な学習やICTを活用した授業展開を導入するとともに、基礎基本を重視した確かな学力を育成する。
- ※ 出席率を高め2・3年生で85%とする  
 ※ 単位修得率を高め80%とする  
 ※ 授業アンケート“先生の声や話し方は聞き取りやすく、わかりやすい”への肯定的な回答率を90%へ

## (2) 募集停止による減学級を見据えた学校運営体制の検討

## 2 生徒理解の促進と、生徒が主役の学校づくり

公開講座（美術・書道）や農場を活用し、地域交流を図りながら、地域に根差した学校として地元から愛される咲洲高校をめざす。

## (1) 行事・クラブ活動・地域活動により魅力ある学校作りを実践する。

- ア 学校行事の内容を検討し、全生徒の参加をめざす。
  - イ 部活動や生徒会活動を活性化し地元地域との連携を行う。
  - ウ 清掃活動を中心とした地域への奉仕活動も積極的に導入する。
  - エ “クリーングリーン咲洲”を合言葉に 校内美化に努める。
  - オ 生徒・地域・教員が互いに挨拶をする環境づくりに努める。
  - カ 商業系列での珠算・簿記、全生徒への漢検受験奨励等、資格取得の積極的な推奨を行う。
- ※ 行事参加率を80%へ  
 ※ 部活動入部率を40%へ  
 ※ 学校教育自己診断アンケートの“学校へ行くのが楽しい”への肯定的な回答率を70%へ

## (2) 生徒理解と支援の徹底

- ”厳しさと優しさ”を持った生徒指導の徹底。生徒にとって安全で安心な居場所を提供し、全教職員で生徒の成長の為に支援を行う。
- ア 「なにかあれば、家庭訪問」を合言葉に、子どもの生活背景を踏まえたうえでの教育を実施する。家庭訪問及び授業参観・個人懇談を活用し、保護者との意思疎通を徹底する。
  - イ 中学校との連携を密にとり、中学校への支援も依頼しながら生徒育成にあたる。
  - ウ 保健相談部を中心とし、配慮の必要な生徒の情報を全職員で共有し、また支援委員会が中心となり適切な支援を行う。
  - エ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、外部機関との連携を視野に入れた支援を行う。
  - オ 職員研修を積極的に実施し、教師のスキルアップを図る。
  - カ 人権教育の充実を図り、人権学習を計画的に実施する。
- ※ 中退率を毎年前年比10%減少させる  
 ※ 入学した生徒の7割以上が卒業できる学校  
 ※ 学校教育自己診断アンケートの“先生はよく声をかけてくれる”への肯定的な回答率を90%へ

## 3 夢と志を持つ生徒の育成

- (1) 各学年を通じて系統的にキャリア教育を実施し、生徒一人ひとりの夢の実現に向け指導する。
- (2) 総合的な学習の時間（「夢咲かそう」と志学及びLHRを活用し、真の社会人として活躍できる生徒の育成と、生徒全員の進路希望の実現をめざす。  
（卒業時進路先決定率100%をめざす）
- (3) 生徒の規範意識の醸成  
遅刻者の大幅減少・頭髪指導・制服指導の徹底  
 ※ SHRを効果的に活用する  
 ※ 卒業時の就職先未定者をゼロに

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 11 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【学習指導等】（ ）内は H27 年度 教師アンケートでは、約 90%が教材や指導方法の工夫と改善に積極的に取り組んでいる。その結果、生徒アンケートでは、「授業がわかりやすい」74%(64%)、「教え方を工夫している」75%(64%)、「実験・観察・実習・作業の時間が多い」69%(50%)等たいへん向上しており、今後も「より分かる授業」をめざしたグループ学習や参加型学習等の授業改善に取り組みアクティブ・ラーニングを積極的に導入していく。</p> <p>【生徒指導等】 「先生は生徒の努力をよく見ている」73%(62%)、「よく声をかけてくれる」79%(72%)、「悩みや相談に親身になってくれる先生が多い」73%(59%)等教師の生徒への見守り姿勢の項目や「学校へ行くのが楽しい」62%(59%)、「先生の指導には納得できる」67%(55%)に対する肯定的な意見も増加し全体的に教師に対する評価が向上しているが、まだ十分な数字とは言えないのでよりきめ細やかな生徒指導の取組みが必要である。</p> <p>【学校運営】 保護者アンケートでは、「家庭への連絡や意思疎通をきめ細やかに行っている」79%(73%)、「将来へ向け適切な進路指導を行っている」80%(78%)、「子どもの指導に関し保護者とよく連携している」71%(65%)等の評価は前年度より高くなったが、「生徒指導の方針に共感できる」67%(76%)、「すべての教育活動において人権を尊重する姿勢で指導にあたっている」65%(85%)等が低下しており、本校の教育活動について保護者向け文書を積極的に配付するなどして情報発信することにより学校運営への理解を得る必要がある。</p>	<p>第1回（5/20）学校経営計画の策定について 本校として「どのような生徒を育てたいのか」という基本的な考え方は変わらない。今年度から募集停止となったので、現状に合わなくなった部分の削除や文言修正をした。また目標達成のためにどのようなことをするのか達成目標や回数等できる限り具体的な数字を示すようにした。 ・教師主導ではなく生徒どうしが声を掛け合い励まし合いながら頑張れるようになればなお良い。 ・今年度は通学時の生徒の状況もたいへん落ち着いている。あえて言わせてもらうなら少しだけらしい服装をした生徒がいるので「身だしなみ指導」のステップアップを期待する。</p> <p>第2回（10/7）学校経営計画の進捗状況について 今年度は学校全体がたいへん落ち着いた状況で懲戒も激減している。生徒会や委員会活動を活性化させ生徒が自主的に取り組むことを重視したサポートを行っている。また、「大阪マラソン完走記念メダル」に生徒のデザインが採用されたり、「2016 ひろしま総文」に美術部生徒の作品が大阪府代表として選出されるなど活躍する生徒も出ている。 ・生徒の頑張りや就職や進学の結果につながることを期待する。 ・せっかく生徒が頑張る状況になってきているのに閉校になるのは残念だ。また、閉校になっても農場等の学校施設は是非有効活用いただきたい。</p> <p>第3回（2/10）平成 28 年度学校評価（案）及び平成 29 年度学校経営計画（案）について 平成 28 年度学校評価については、目標値を達成または上回る項目が多く全体的に好結果となっている。 ・先生方の指導が学年進行に従い生徒たちにより理解された結果ではないか。 ・上級学年になり選択授業等が増えたことも理由ではないか。今後も体験的な授業内容を工夫されることを期待している。 ・平成 28 年度学校経営計画及び学校評価（案）について、学校協議会として承認 平成 29 年度学校経営計画（案）について、学校はたいへん規模縮小するがこれまでの本校の指導方針を変えることなく継続するとともに「進路保証」を最大の目標にした取組み内容とした。 ・次年度1学年となり絶対数が少なくなると学校行事等はこれまでどおりでは実施できなくなるだろうから工夫が必要 ・規模縮小しても学校の特徴である個々の生徒に対応した懇切丁寧な指導を今後も継続されることを期待している。 ・平成 29 年度学校経営計画（案）について、学校協議会として承認</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 確かな学力の育成</p>	<p>生徒の授業への積極的な参加を促すとともに、“魅力ある授業作り”を重点課題に据え、進級・卒業数の向上を図る。</p> <p>(1) 生徒の学ぶ意欲の涵養</p> <p>(2) 基礎基本の習得</p> <p>(3) 教員の授業力の向上</p> <p>(4) 体験学習や ICT 機器の活用</p> <p>(5) 募集停止による減学級を見据えた学校運営体制の検討</p>	<p>(1) 本校の特色である少人数展開及び多様な選択科目を充実させ、個のニーズにあった充実した授業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27 年度から実施した三学期制、50 分授業を有効活用し授業内容の充実を図る。</li> <li>・テストの成績だけでなく、出席や課題提出状況などを含めて評価していることを生徒に周知徹底する。</li> </ul> <p>(2) 全生徒に対して「基礎力診断テスト」を行い、個々に応じた学びなおしと個人の学習力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科独自教材活用で基礎学力の向上をめざす (ICT の活用やプリント学習等)</li> </ul> <p>(3) 年間 2 回の教員による授業見学や管理職による授業観察を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年 1 回の教科毎の研究授業の実施</li> <li>・年 2 回の授業評価 (生徒アンケート) を実施。1 回目終了後改善計画を作成し 2 回目で検証を行う。</li> </ul> <p>(4) 実験実習を多く取り入れ、体験的学習の機会を多く持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話せる英語・使える英語を重視した授業等生徒が主体的に取り組める授業を展開する。</li> <li>・タブレット型 PC や大型モニターを使った学習を導入</li> </ul> <p>(5) S P (閉校課題解決) 委員会で今後の学校運営体制を検討する。</p>	<p>※ ( ) 内は H27 年度 2 年生の 90% (72%) 以上の進級、 3 年生の 100% (90%) が卒業 授業アンケート“先生の声や話し方は聞き取りやすく、わかりやすい”への肯定的な回答率を 90% (80%) に 出席率を 2 年生 85% (72%)、3 年生 90% (83%) に</p> <p>(1) 授業内容の精選と改善のため教務部・系列長・S P 委員会を中心に方策を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科の共通科目では基礎的な、系列では専門的な力をつけさせる為の平成 29 年度の教育課程の策定</li> <li>・単位修得率 80% (77%)</li> </ul> <p>(2) 生徒全員に漢字検定の受験を奨励する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学を視野に入れた講習の実施</li> <li>・各学年で、遅進者対策の為の補習の実施</li> </ul> <p>(3) 教科ごとの年 1 回の研究授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間一人 2 回以上の授業公開及び授業見学の実施</li> <li>・授業評価 1 回目より 2 回目の改善</li> </ul> <p>(4) 各教科で ICT 機器を活用した授業の実施</p> <p>(5) 平成 29 年度学校運営体制の完成</p>	<p>( ) 内は H27 年度末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●進級卒業率見込(△) 2 年 82% (72%) 3 年 97% (92%)</li> <li>●授業アンケート(△) 第 1 回肯定回答 83% (76%) 第 2 回肯定回答 83% (80%)</li> <li>●出席率 (○) 2 年 80% (72%) 3 年 85% (83%)</li> <li>●専門的な力 (○) 珠算三段取得 ビジネス文書 2 級 4 人 全商簿記 2 級 5 人</li> <li>●2 年全員漢検受験(○)</li> <li>●授業見学・研究授業実施(○)</li> <li>●社・理・英・書等で ICT 機器活用(○)</li> <li>●運営体制 (○) 校内では S P (閉校に向けた課題解決) 委員会開催 「閉校準備委員会」を 2 回開催</li> </ul>
<p>2 生徒理解の促進と、生徒が主役の学校づくり</p>	<p>(1) 学校行事・部活動・生徒会活動・地域活動の活性化</p> <p>(2) 厳しく教え、優しく育てる生徒指導</p> <p>(3) 生徒の実態把握と支援</p>	<p>(1) 「魅力ある学校づくり」の一環として、行事・部活・地域連携・生徒会活動の活性化を図る。</p> <p>ア・学年集会や全校集会を通じて咲洲高校生としての自覚を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事へのクラス参加を奨励するとともに修学旅行・卒業アルバム作製等を通じて仲間作りや愛校心を芽生えさせ、魅力ある学校として認識させていく。</li> <li>・生徒会役員が中心となる学校行事の実施</li> <li>・行事への参加率を高める。</li> </ul> <p>イ・部活動加入率の向上をめざす。</p> <p>ウ・地域行事への積極的参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画推進費により整備した農場等、校内の各種特別教室を活用した近隣幼稚園・保育所等との連携及び地域住民との交流を図る。</li> <li>・学校協議会における「地域連携に対する学校の取組み」関連評価の向上をめざす。</li> </ul> <p>エ・ホームページや咲洲メールマガジン等を通じて情報発信を行う。</p> <p>(2) 生徒を理解し、守り、育むために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー中退防止の為の指針の実施ー</li> </ul> <p>ア・“何かあれば家庭訪問”を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとの個人懇談を活用し、全員の保護者との意思疎通を徹底する。</li> </ul> <p>イ・中学校との連携を密にとり、中学校からの支援も依頼しながら生徒の育成にあたる。特に退学しそうな生徒に対しては中学校・保護者と連携し支援にあたる。</p> <p>ウ・生徒相談体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室の活用と相談機会の提供。</li> <li>・保健相談部と支援委員会の情報共有と連携を図る。</li> <li>・支援委員会を中心とするケース会議を実施し、場合によっては S C や S S W の参加も要請する。</li> <li>・生徒指導部と保健相談部が連携し、心のケアを必要とする生徒へのサポートを強化する。</li> </ul> <p>(3) 生徒の支援</p> <p>ア・支援委員会を活用し、必要な生徒へは学校を挙げて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校生活支援カード」の積極的活用</li> </ul> <p>イ・ニーズに応じた職員研修の実施。</p> <p>ウ・策定した人権教育計画により、豊かな人権教育を推進。</p>	<p>(1) 学校行事等の改革</p> <p>ア・学年集会や全校集会の効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への参加率 75% (70%)</li> </ul> <p>イ・部活動の加入率 30% (26%)</p> <p>ウ・地域行事へ年間 2 回以上の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内施設を活用した公開講座等の地域交流事業を年間 3 回以上実施する。</li> <li>・交流事業の広報活動として、自治会掲示板の利用などの施策を講じる。</li> <li>・農場を活用し、年間 2 回以上の地元幼稚園との連携及び地域住民との交流</li> <li>・学校の持つ人的資産を活用し地域の小学校へ出前授業等を実施する。</li> </ul> <p>エ・ホームページをタイムリーに更新し情報発信に努める (年間 100 回以上の更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて中学校訪問</li> </ul> <p>(2) 中退者数を 10 人以下にする</p> <p>ア・家庭訪問強化週間を設定し、保護者の理解を深める為の家庭訪問を推奨 (年間総数 100 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導の徹底を図り、基本的な生活習慣を身につけさせる。</li> </ul> <p>イ・在校生の出身中学への訪問、中高連絡会等、中学校との情報交換を実施する。</p> <p>ウ・各学期に保護者懇談を実施するとともに、S C 等の活用を図り相談の機会を提供する。</p> <p>エ・P T A と連携して保護者の学校行事等への積極的な参加協力を依頼し、本校教育活動について周知を図る。</p> <p>(3) 生徒の支援充実</p> <p>ア・必要に応じて支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健相談部と支援委員会が連携し「高校生活支援カード」を活用する</li> </ul> <p>イ・支援教育を中心とする職員研修を年間 5 回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修への参加率を 80% (75%) 以上</li> </ul> <p>ウ・策定した人権計画に基づき、各学年で人権学習を実施。生徒の人権意識の向上はアンケート等で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行事参加率 86% (70%) (◎)</li> <li>・遠足 90% (79%)</li> <li>・スポーツフェス 84% (77%)</li> <li>・芸術鑑賞 79% (55%)</li> <li>・文化祭 90% (71%)</li> <li>●部活動加入率 29% (26%) (○)</li> <li>●地域交流 (◎)</li> <li>・幼稚園芋植 5/19 芋掘 11/9</li> <li>・校庭のピクニック 6/4</li> <li>・花 7/31、太陽 8/6 祭</li> <li>・家庭科授業で幼稚園と交流 11/10</li> <li>・小学校珠算出前授業</li> <li>・市民公開講座(美術) 10/8・15・22</li> <li>●HP 更新 (◎)</li> <li>138 回 (133 回)</li> <li>●中退者 (◎)</li> <li>12 人 (86 人)</li> <li>●家庭訪問 (△)</li> <li>44 回 (161 回)</li> <li>●懇談会等(○)</li> <li>●支援体制 (○)</li> <li>・支援委員会考査毎</li> <li>・支援カード</li> <li>・個別の支援計画</li> <li>・学習支援</li> <li>・ケース会議</li> <li>●職員研修(○)</li> <li>開催 7 回 (12 回)</li> <li>全員対象 2 回 (3 回)</li> <li>参加率 83% (75%)</li> <li>ケース会議等 2 回</li> <li>●美術部生徒全国入選</li> <li>●生徒のデザインが「大阪マラソン走完記念メダル」に採用される</li> </ul>
<p>3 夢と志を持つ生徒の育成</p>	<p>(1) 確かな進路保障</p> <p>(2) 規範意識の醸成</p> <p>(3) 挨拶・返事・清掃の徹底</p> <p>(4) インターンシップ活動の奨励</p> <p>(5) ボランティア・地域活動へ参加</p>	<p>(1) 学年を通じたキャリア教育を充実させ「夢咲く未来」の実現を図る。</p> <p>ア・卒業生全員の進路実現</p> <p>イ・積極的に外部人材の活用等も視野に入れながら、総合や L H R の時間を活用し学年を通じたキャリア教育の推進を図る。</p> <p>(2) 生徒指導規律の徹底を図り、全体生指の発想での生徒指導体制で臨む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年・全校集会や S H R を通じて生徒に指導や啓発を行う。</li> <li>・生徒指導室の効果的活用</li> <li>・遅刻生徒へは生徒指導室において入室許可証を発行する。</li> <li>・制服・頭髪等みだしなみ指導の徹底</li> <li>・全校一体となった職員室の有効活用</li> </ul> <p>(3) 教員が模範となり、「だれでもいつでも挨拶する」ことの徹底。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年 2 回の清掃活動等の奉仕活動の実施。</li> </ul> <p>(4) 夏季学校外学修で行う各種企業等への体験学習を充実させる。</p> <p>(5) 生徒会を中心に各種ボランティア活動や地域行事へ積極的に参加する。</p>	<p>(1) 卒業生徒の進路先決定 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の 100% 進路先決定</li> <li>・就職対策としての徹底した面接指導</li> </ul> <p>(2) 遅刻者の大幅減少 (年間総数を 4,000 件以下に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年集会を学期に 1 回実施し定期的な頭髪指導にあたる</li> </ul> <p>(3) 毎日教員が正門で登校してくる生徒を迎える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会で挨拶運動の実施</li> <li>・清掃活動を各学年、年 2 回以上実施する</li> </ul> <p>(4) インターンシップへの参加者を 15 名以上に</p> <p>(5) H P、校内掲示等を通じ、ボランティア活動をこれまで以上に奨励・推進する。</p> <p>(年間 2 回以上のボランティア活動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路決定状況(△)</li> <li>・学校斡旋就職 32/32 人 (31/31 人)</li> <li>・進学状況 33/33 人 (37/37 人)</li> <li>・公務員合格 1 人</li> <li>●懲戒件数(◎)</li> <li>5 件 9 人 (53 件 66 人)</li> <li>●遅刻指導(△)</li> <li>4,315 回 (9,963 回)</li> <li>●インターンシップ (◎)</li> <li>19 人 (8 人)</li> <li>●ボランティア (○)</li> <li>・HR で校外清掃</li> <li>・「大阪マラソン」ボランティア</li> <li>・「南港ファミリーフェスタ」ボランティア</li> </ul>